

市電フォーラム

第1回

テーマ ● 「市電の現状と路面電車の将来」
開催日 ● 平成16年8月31日
会場 ● 札幌すみれホテル
参加者 ● 218人

第1回目のフォーラムでは、路面電車の歴史や現状、課題を紹介し、存廃問題の解決に向けた意見交換が行われました。



参加者からの主な意見

- 都心部への自動車の流入は限度を超えている。都心部から自動車を排除し、路線を延伸して存続してほしい。
- 赤字はやむを得ないので、ある程度の財政支援は必要だ。
- 環境に優しい路面電車は存続させるべき。札幌のきれいな空気を守ってほしい。
- 歴史的な札幌市の財産として残すべきだ。
- 路線延長や人件費の圧縮に取り組み、利便性の確保と経営の改善を図るべきだ。



第2回

テーマ ● 「市電の存廃問題を考える」
開催日 ● 平成16年12月4日
会場 ● 札幌すみれホテル
参加者 ● 191人

第2回目のフォーラムでは、公募した4人の市民の方が路面電車についてそれぞれの意見を述べました。



排ガスが出ないクリーンな乗り物で、環境にも優しいです。また、冬期間は自動車を利用するより時間が正確です。路面電車の価値を総合的に判断し、存続してもらいたいです。
たけだ ひろこ
武田広子さん



存続するには、沿線住民のニーズや現在の交通事情に合わせた上で、都心部に居住する人を増やすなどのまちづくりを行っていく必要があります。
やまもと ちが こ
山本千雅子さん



現行の路線では一部の市民にしか利用されていないため、延伸して存続を図るべきです。多くの市民が利用し、事業者も努力して、親しまれる路面電車にしてほしいです。
ひらの たくろう
平野琢朗さん



まちづくりの視点からLRTという新型高速路面電車を導入してほしいと考えています。都心の活性化を目指して、市民だけでなく、観光客、事業者ともみんなが利益を得られるようなものにしてほしいですね。
よし おかひろ たか
吉岡宏高さん

第3回市電フォーラムを開催

- 内容** ● 路面電車を存続するとの結論に至った経緯を説明するとともに、今後の路面電車の在り方について、上田市長も交えてパネルディスカッションを行います。
- 日時** ● 3月29日(火)午後6時30分～8時30分。
- 会場** ● 札幌すみれホテル(中央区北1西2)。
- 定員** ● 200人。

申込方法

はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、3月18日(金)(必着)までに交通企画課(〒060-8611中央区北1西2)へ送付。ファクス 218-5114、Eメール sogokotsu1@city.sapporo.jpでの申し込みも可。多数時抽選。落選者のみ通知します。参加は無料です。

